

会報 たちはな

立花小学校PTA広報部

平成21年7月23日発行

児童数 ▶ 120人

教職員数 ▶ 13人



『宝』

～歩こう～歩こう～私は元気～
歩くの大好き～どんどん行こう～

この曲にのって立花小学校に十四人の
一年生が入学しました。個性豊かなかわい
い一年生、十四人です。

元気いっぱい遊び発明名人、ひなたさん
楽しい雰囲気にあふれる、しゅうまさん
優しいつばいりゅつのすけさん
字も上手、お絵かきも大好き、りひとさん
何でも最後までできる、りゅつまさん
聞き名人物知り博士のけんせいさん
虫博士、かいじゅつ博士のたいがさん
サッカー少年、運動大好き、りんさん
変身、ここが大好きなゆうまさん
四葉発見、あいさつ名人のかりさん
いつも元気、何でもがんばる、こなつさん
お手本のよつな字が書ける、ほのかさん
みんなにかわいがられている、すずさん
お世話上手、しっかり者のあみかさん

みんなは、得意なこと、いいところがい
っぱいありますよ。それは、宝です。宝をも
つことも光らせることができるように、
がんばりまじゅう。

私も立花小学校二年生。お家の皆さんと
心をあわせ、力に力を磨き上げたい
と思います。

十四人の子どもたちにとって、学校生活
が『えがお』『はな』『ありま』です。

本との出会い



校長 山名 秀樹

立花小学校にお世話になって二年四か月が経過しようとしている。落ち着いた毎日を送る中で、最近自分の小学校時代のことを思い出すことがある。

私は一昨年に母親を、昨年父親を見送った。葬儀を進める中で、久しぶりに顔を合わせる親類や近所の方々と昔の思い出話をするようになるのだが、私の小学校低学年の頃は、すこぶる評判が悪い。お寺の和尚さんは「いやあ、秀樹ちゃん、昔はキナナかったねえ。」と、様々な私の過去の悪戯を並びたてた。私は、都合の悪い過去は片っ端から忘れることにしているが、自分の娘の前でどんな顔をしていいやら大変に困ってしまった。五十すぎの男をつかまえて、「秀樹ちゃん」と「ちゃんづけ」も困ったが、校長職を拝命していても生まれ故郷に帰れば、かくのごとく「鼻たれ小僧」扱いなのである。

小学校低学年のことで覚えているのは、一年生の時の通信票の所見である。そこにはこう書かれてあった。「雑で乱暴で、落ち着きがなく、自分の気持ちのむくまに生活していた。」昔の先生は子どもの状況を的確に表現するものであるが（今なら苦情の電話が来るだろう）、さすがに当時の私も母親や兄弟に「雑で乱暴」と短縮形で言われるたびに、「これはまずい。」と思ったものである。

私の両親は数々の名言や珍言を残したが、小学校四年生頃に母親から言われた言葉を今でも覚えていて。「秀樹は、本を読んでいる時と寝ている時が一番静かだよ子だ。」この言葉も、本人の素行を決してはめてはいないのだが、単純な私は、中学年以降せつせと本を読むようになった。大正三年と六年生まれの両親は、私のために毎月一冊ずつ配本される世界文学全集を買ってくれた。学校の図書室でも、誰も借りていない本の中に面白い本を見つけて喜んでるようになった。少し生活も落ち着き、ひどく怒れることも少なくなったように思う。

中学生になると、経済的な理由から進学できなかった母親は、読書に関しては寛容で、私が「欲しい本があるので盛岡の本屋に買いに行きたい。」と言えば、決して裕福ではなかったが、往復の汽車賃と本代を出してくれた。おかげで、私は文庫本を中心に多くの本を読むことができた。

今でも当時の文庫本は、赤茶けたぼろぼろのパラフィン紙に包まれて私の家の本棚にある。自分のお金で自由に本が買えるようになって、昔の本が捨てられないのである。値段を星の数で表示した岩波文庫をみると、妙に懐かしくなるのである。また、当時の出版界も良書を出していた。福音館文庫では五百円前後で、上下に原文と現代語訳を載せた古典作品を出していた。私は、受験勉強もせずに（あるいはしているふりをし）てせつせと平家物語や徒然草、枕草子などを讀んだ。おかげで後年、授業にあまり出ない不真面目な大学生となったが、専門科目の単位はつも落とすことがなかった。これも読書の効用かもしれない。

私と本との出会いは、以上のように始まる。

まり今も続いている。何一つ計画性も、見通しもなく今までだったが、本は一生の友達である。少なくとも、「雑で乱暴」な人生にはならなかった、と改めて本に感謝している。

PTA会長 上野勝秀



会長に就任以来地域の方々とお会いする機会が多くあり、子供たちは地域の中で本当に大切にされているのだと実感しております。家庭や学校だけではなく地域社会とのかかわりも、子供たちの健全な成長には欠かすことができないものだと思います。子供たちはまぎれもなく

地域全体の『宝』なのです。

さて、近年急速に発達したIT技術により、私たち大人のみなならず子供たちを取り巻く環境も日々刻々と変化し続けています。私たちがかつて子供のころに夢に描いた科学の発達した便利な世界が、すぐ手の届くところにあるように思えます。特に携帯電話やインターネットは、日常生活や仕事等で、もはや欠かすことのできない非常に便利なツールとなりました。しかしその反面、これまででは考えられないような犯罪も多く発生しています。特に判断能力の未熟な子供たちが巻き込まれる痛ましい事件は後を絶ちません。まさに、『光強ければ影また濃し』です。私たちには便利さ（光）の裏側に潜む（影）について子供たちにきちんと教えていく責任があると思います。

PTA活動を通じて私たち保護者も共に学び、考え、行動し、学校や地域と協力して子供たちにとつてより良い環境作りをしていきたいと思いますので、皆様のご理解とご協力よろしくお願いいたします。

PTA表彰

★千葉 義広さん (市P連表彰)



平成十八、十九年度 PTA副会長

●副会長時代は、PTA会長を補佐し、PTA活動の推進役として、ご活躍いただきました。

★渡邊 知子さん (単P表彰)

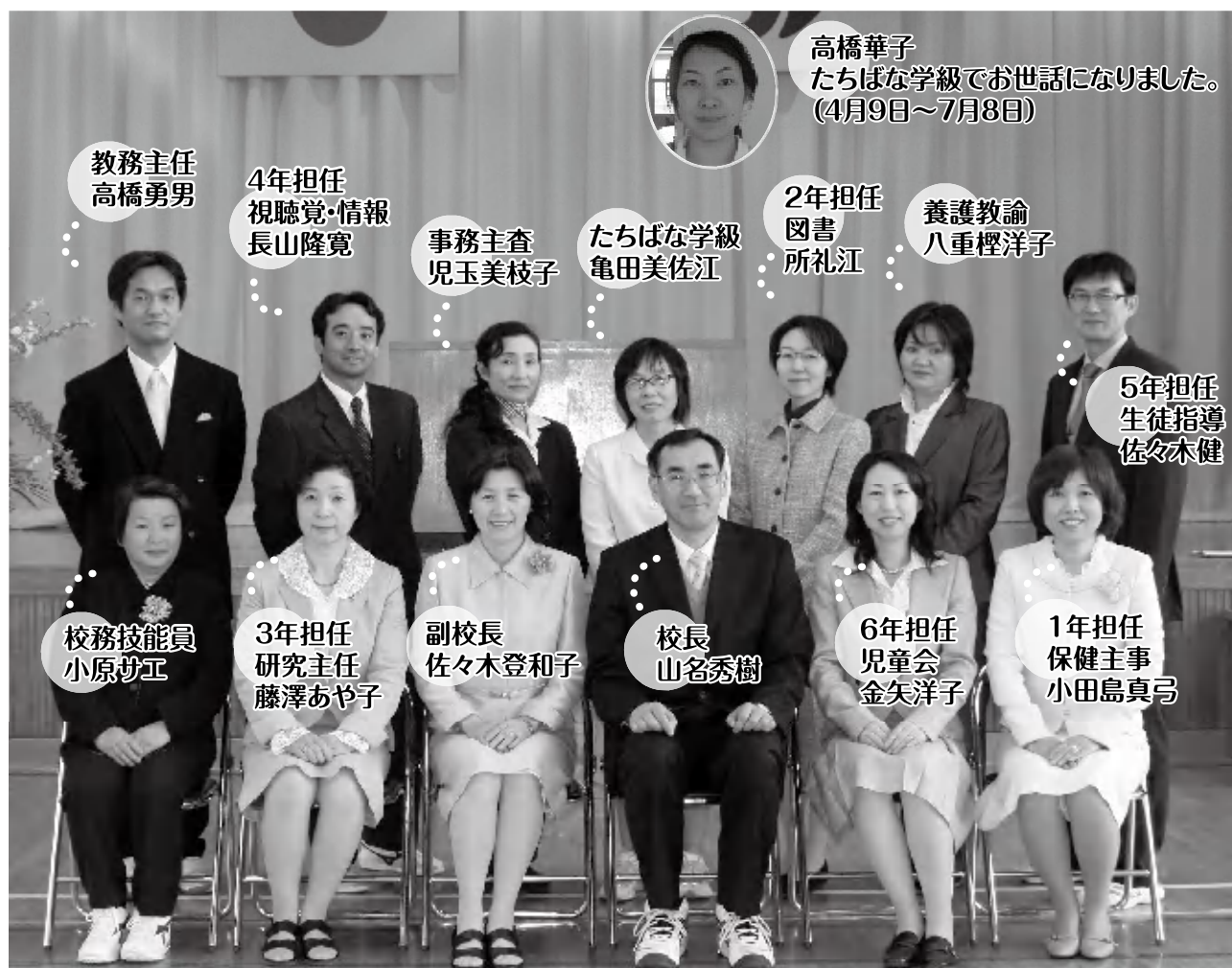


十五年度学年委員長、
十六年度地区委員長、
十八年度教養部長、
十九年度校外委員長、

十八年度～現在まで読書ボランティア代表

●長年にわたり、PTA活動の充実・発展のためにご尽力いただきました。

先生方の紹介



新任の先生の紹介

よろしく お願いします。

児玉美枝子

- ①紫波町
- ②事務
- ③読書、スキー、子どものおっかけ
- ④昔と変わらない見はらしの良い明るい学校
元気良くあいさつができる素直な子ども

質問

- ①出身地
- ②担当
- ③趣味
- ④立花小の印象

小田島真弓

- ①奥州市水沢区(水沢市だった。)
- ②一年生担任・保健主事
- ④児童…明るく元気、あいさつが素晴らしい
保護者地域…学校に協力的、素晴らしい
岩手山から夏油高原までみえ
市街地も一望できる眺めが最高、素晴らしい



立花小大運動会

リレー

二年 ちだ ゆうと

五月二十三日、うんどうかいでリレーをやってほしかったのしかったです。

ちからいっぱいはいりました。

た。

初めての全校リレー

四年 佐藤 沙耶香

今年の大運動会では、リレー

が全校リレーになって色々な不安がありました。「一番の心配は、

今日はうんどう会

三年 山口 利音

はじまりました。とちゅうで、まけたりかったりしたけど、まけないと思ってたたかったり、おうえんしたりしました。おなかへつてもはじたりして、おひるになって、おなかいっぱい食べました。ヤッターマンのダンスでは、もつポンポンをもってダンスするのがさいごだから、がんばっておどりました。けっか発表で、赤組がかってよかったです。

今日は、うんどう会の日でした。はじめてのことが二つありました。一つ目は、チャンスレーズで「ラッキー」をひいたことです。れんしゅうの時は、「アンラッキー」でした。二つ目は、はじめていだったことです。一年から二年、れんしゅうの時は、二い、三、かんそうでした。ゆうしうは赤でしたが、おうえんしうは白にとられました。来年は、ぜったいおうえんしうをとりたいです。

好きになった走ること

五年 滝澤 舞

私はすうつと、走ることが大嫌いです。

でも、全校リレーで、赤組ばかり勝っていたので、負けたくないなあと思い、ずっと練習していくうちに、だんだん走ることが楽しくなり、好きになりました。

運動会の結果は、白が負けたけど、走ることが好きになったのでよかったです。

来年が最後なので、勝ち負け関係なく、今年よりも楽しい運動会になればいいなあと思います。

いい思い出となった運動会

六年 波田野 蒼

高学年リレーは、赤組で二走目に走りました。バトン有位でもらい「つなぐ」という気持ちで走りました。走り終わったあとでも、赤を応援しました。赤組が二位でゴールしたときは、すごうれしかったです。みんな、一生けん命走ったからだだと思います。

閉会式の得点発表で、「赤組の勝ち」と言われたときは、す



みんなのおかげで書くのが一
いになりました。みんなが、力
いっばいはしったからかったん
だね。

れんしゅうのときは、まける
ことが多かったので、まさか一
になると思っていますんでし
た。

本ばんでは、おいこしたりお
いこされたりして、とてもドキ
ドキしました。

「いになれて、うれしかったで
す。

ファイター!!ばつ心もつ

二年 こんの まお

わたしは、おとうさんと「フ
イト!!ばつ心もつ」をがんば
りました。三いになりました。
おとうさんが木のソリをひいて
くれました。早かったので、たの
しかったです。わたしは、すご
いとおもいました。ちからいっ
ぱいひっぱるおとうさんのかお
は「まつかつか」になっていまし
た。おとうさんと、心をひとつ
にしてがんばった三いは、とて
も、心にとりましました。たのし
かったです。

かちたかつたうんどう会

三年 梅津 晴花

今日こそはかちたいと思っ
ていた、うんどう会のきょうぎが

ハトンのわたし方です。「ハト
ンを落としてしまわないか」と、
とても不安でした。特に、ハトン
を右で受け取り、左手に持ち替
えて走るときに失敗が多かった
です。私のいる赤組は、昼休み
に何度か練習をしました。

そして、ついに本番の日がや
つてきました。練習の成果がで
て、ハトンを落とす人が誰もい
ませんでした。二位は赤組、二位
は白組、三位は黄組、四位は青
組でした。とてもうれしかった
です。たぶん勝てたのは、みんな
練習をいっしょうけんめいや
り、「みんなの心が一つになった」
からだと思います。また、全校
リレーをするときには、心をつ
にしてがんばりたいと思いま
す。

がんばった運動会

五年 伊藤 愛恵

私は、金管クラブなので、行
進曲を吹きました。昼休みや放
課後、ほぼ毎日練習をして、す
ごくがんばったので、成功した
ときは、とてもうれしかったで
す。

徒競走では、一年生から今ま
ですつと四位や五位ばかり
で、走るのがイヤでした。また、
今年もダメだろうと思っていた
ので、二位になったときは、信じ
られませんでした。とてもうれ
しかったので、二等のシールを

よく気持ちよかったです。最後
の運動会で勝てたのもうれしか
つたし、なにより、みんなで力を
あわせての結果だったのが最高
でした。

最後の運動会

六年 阿部 成美

平成二十一年五月二十三日
に、立花小学校の運動会があり
ました。この日は、わたしたち
にとつて、小学校最後の運動会
だったので、いつもより気合い
がはいりました。

わたしは、運動会のめあてを
「応えんを大きな声でする」に
しました。本番では、そのめあ
て通り、腹の底から声を出し、
応えんしました。その結果、応
えん合戦で見事赤組に勝って応
えん賞をとることができまし
た。練習では、ずっと負けてばか
りだったので、とてもうれしかっ
たです。





修学旅行の思い出



●初めての体験、修学旅行

六年 小田島 咲夢

平成二十二年六月十、十一日に修学旅行がありました。六年生の行事で一番楽しみにしていた修学旅行。とてもいい思い出ができました。とくに思い出に残っているのが、仙台市天文台と八木山ベニアンドです。

仙台市天文台では、「星と日食」について、見ました。なんだか不思議な空間にいるような気持ちになりました。そして、どんな宇宙にこんな気分になりました。初めてプラネタリウムを見ましたが、思っていたよりも本当にすごくリアルで、びっくりしました。それに、日食、月食のことや星ざのことなど、宇宙に関することにちよとくわしくなれたのでよかったです。

八木山ベニアンドでは、成美ちゃんといっしょに行動しました。いろんな乗りものに乗りました。とくにおもしろかったのが、パイラットと、ゴーカーです。パイラットは船の形をした、左右にすごく高く動く乗り物です。見ていると、乗っても、おもしろい。だけど、こわいというの、少し入っていると、思います。ゴーカーは、キセキのかっぱずし班(三班)のメンバーで、ペアをつくらせて乗りました。私は、郁哉さんとペアになって乗りました。いろんなところにつかたけれど、これもいい思い出になったと思います。

この旅行で勉強になったこともたくさんあります。

一つ目は、平泉の中尊寺の炎が、千二百年も前から燃えているということです。これには、想像もつかないくらいおどろきました。

二つ目は、団体行動をしつかり守ると、時間がおくれてしまったら、たいへんになるということをおぼためて知りました。

この二日間は、わくわく、ときどききることがいっぱいあって、よい思い出がつくれて良かったです。最高の思い出になりました。





●最高の思い出、心に残った修学旅行

六年 大上 健斗

平成二十二年六月十日、十一日に修学旅行に行きました。旅行の思い出をランキングで三つしようかと思います。

第三位は、「マリニピア水族館」です。外国の魚、黒潮にすむ魚、アシカショーなどなど、いろいろな魚を見て学んできました。そこで、ペンギンを見ながら、お弁当を食べました。とてもおいしかったです。そして、アシカショーもみました。とても素晴らしい演技で動作などすごく覚えていたのでびっくりしました。広いのではぐれそうになったときもありましたが、なんとか大じょうぶでした。

第二位は、「仙台天文台」です。見学、体験をして、「プラネタリウム」をみました。大きな天じょうにうつしだされた夜空はとつてもきれいでした。町の光がないと、空をうめつくすほどの星がありました。そこでは、「星ざ」と、「日食」という不思議な現象をみました。「日食」というのは、太陽が月の後ろにかくれる現象でこうなると、昼でも星が見えるくらい暗いです。すごいなあと思いました。

第一位は、「八木山ベニランド」です。ジェットコースター全種類のりました。あいにくの雨でしたが、とてもおもしろかったです。だけど、最後にのった回転する乗り物、「パラトルーパー」に乗ったらとてもよってしまいました。二十分ぐらいは気持ち悪くなっていました。そのあとは、ショッピング。売店で、おみやげ、キーホルダーなどなど買いました。とても楽しかったです。雨でも思い出深い修学旅行でした。



広報部

親子レクの参加報告

盛り上がったレク

宮本 絵美

一年生親子レクは、六月十八日(木)に、図書室で給食試食会、体育館で転がしドッジボールを行いました。お昼頃から図書室に集まり、すわる席には、心温まる子供達手作りのネームプレートが置いてあり、楽しく和やかに皆で給食を頂きました。そして次は、体育館に移動して、親子紹介した後、転がしドッジボールをやりました。最初は、ふだんの子供達の姿も見たいとの意見もあり、子供達だけの対決を観戦し、次に親子対決で盛り上がりました。親子で一緒に体を動かすことが出来、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。御父兄の皆様、平日にもかかわらず沢山参加して頂き、ご協力ありがとうございました。

1年生



2年生



懐かしい遊びとニュースポーツ

菊池 泰子

六月二十七日、二年生の親子レクを行いました。まずは親子で自己紹介・ラジオ体操をした後、三羽のツバメも参加し、じゃんけん列車を行いました。子どもはもちろん親も笑顔の中、汗だくで列になりました。その後は、子どもだけで言葉作りカードゲームをし、次に「だるまさんが転んだ」ゲーム。リーダーのかけ声の間にできるだけ玉を多く拾って前進し、ピタッと止まり……。たくさん拾いすぎてゴールできない親御さんもあり、思わず笑みがこぼれました。最後は、親子対抗ドッジボール。本気でフリスビーを投げる親に、思わず子どもから「するい〜」の声も聞かれましたが、親の威厳をかけ(?)手加減せず、快勝しました。暑い中、全員参加していただき、楽しい時間を過ごすことができました。ご協力、ありがとうございました。

3年生



親子で交通安全

佐藤 和枝

三年生の親子レクは、六月十一日(木)給食試食会と交通安全教室を行いました。図書室に集合し、勝手が分からない親を尻目に手際よく準備する子供達、初めて親子で食べる給食は、嬉しさが加わり、美味しく楽しい昼食でした。その後、場所を体育館に移し、交通安全出前講座です。お二人の指導員のもと、ゲーム形式で赤白に分かれての競争です。親子で二人三脚をしながら問題を解いていく、足がもつれたりで大騒ぎ、標識当てクイズも親子の共同作業が発揮され、楽しい教室となりました。最後に、指導員より事故に遭わないよう、又事故を起こす側にならないよう、とのことのお言葉を頂き、気持ちを新たにします親子でした。



編集後記

この度、会報たちばな(第40号)を無事発行する事が出来ました。

今年度も新一年生のかわいらしい姿と全校生徒力を合わせた大運動会、6年生の最大行事ともいえる修学旅行、1年生～3年生までの親子レクと、子供達のとても元気な姿を載せる事が出来ました。

これも原稿を快く引き受けて下さった皆様のおかげです。本当にありがとうございました。今後も皆様方のご協力のもと、頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。